

心情読解プログラム

人の心を想像し、自分の生き方を考える（全7時間）

対象の目安：小学校高学年～中学生

塾・家庭学習・自由授業向け

秋元進吾

目次

1. キット00：はじめに・使い方
2. キット01：単元計画表・単元目標・評価規準
3. キット02：各時の授業案（全7時間）
4. キット03：ワークシート（全7時間分・印刷用）
5. キット04：導入読み上げ原稿＋展開・まとめ対話例台本（全7時間分）
6. キット05：教材リストと選定基準

キット00：はじめに・使い方

- 著者：秋元進吾
- 対象の目安：小学校高学年～中学生
- 構成：全7時間（1コマ45分想定）＋配布ワークシート・読み上げ原稿つき

1. このプログラムについて

本キットは、5つの物語を通して「登場人物の心情を想像する力」を段階的に育てる、全7時間の読解プログラムです。

学校の教科書の学年配当には縛られない、**塾・家庭学習・自由授業（フリースクール・オンライン授業・親子読書会など）**向けの教材として設計しています。扱う作品の教科書配当は小2～中2までまたがっており、特定の学年の授業ではなく「心情を読む」という一本のテーマで作品を選んでいるためです。

対象の目安と各作品の教科書配当

対象の目安：**小学校高学年～中学生**（各作品の教科書配当は下表参照）

作品	作者	教科書配当（参考）	本プログラムでの扱い
ごんぎつね	新美南吉	小学4年（3社とも）	第1時
大造じいさんとガン	棕鳩十	小学5年（3社とも）	第2時
注文の多い料理店	宮沢賢治	小学5年（現在は東京書籍のみ）	第3時
雪女	小泉八雲（再話）	小中の教科書に定番配当なし	第4時
走れメロス	太宰治	中学2年（4社とも）	第5・6時
スーホの白い馬	モンゴル民話（大塚勇三・再話）	小学2年（光村図書のみ）	発展教材（本編7時間には含みません）

※著作権について：本文を掲載する練習帳・サイト版で扱う6作品（『大造じいさんとガン』を『手袋を買いに』に、発展の『スーホの白い馬』を『蜘蛛の糸』に差し替えた構成）は、**2026-07-20時点で青空文庫収録＝著作権保護期間満了を確認済み**です（『雪女』は田部隆次訳）。『大造じいさんとガン』『スーホの白い馬』は保護期間中のため本文掲載はできません（本キットは本文非収録のため、この2作品を使った授業・家庭学習は問題ありません）。

※教科書配当は2026年7月時点で、各教科書会社の公式資料（教材出典一覧・年間指導計画）を確認したものです。小学校国語は東京書籍・教育出版・光村図書の3社、中学校国語はこれに三省堂を加えた4社が発行しています。改訂で変わることがあります。

※「**習っていない**」学習者がいても自然です。『注文の多い料理店』は現在3社中1社（東京書籍）のみ、『スーホの白い馬』は光村図書のみの掲載です。使う教科書によって出会う作品は変わるので、あらすじの確認から入ると安心して始められます。

※教科書配当はあくまで「学校ではその学年で扱われることが多い」という参考情報です。本プログラムでは、既に学校で読んだ作品を「心情読解」の視点で読み直すこと、まだ出会っていない作品を先取りして読むこと、いずれも学びとして有効と考えています。

2. プログラムの狙い

- 物語を丁寧に読み、登場人物の行動や心情を想像できるようになる。
- 登場人物の気持ちの変化を、本文や自分の経験と結びつけて考えられるようになる。
- 読み取ったことを自分の言葉で表現し、他の人と共有できるようになる。

心情の「幅」を段階的に広げる流れになっています。

誤解される悲しみ（ごん）→ 敵への敬意（大造じいさん・残雪）→ 不安と恐怖（紳士）→ 約束と裏切り（雪女）→ 友情と信頼（メロス）

発問は必ず「なぜ？」で深掘りし、学習者が自分事として考えられるように配置しています。最後は自己表現につなげて締めくくります。

3. 7時間の全体像

時間	教材	焦点となる心情
第1時	『ごんぎつね』	伝わらない気持ち
第2時	『大造じいさんとガン』	敵への敬意
第3時	『注文の多い料理店』	不安と恐怖
第4時	『雪女』	約束と裏切り
第5時	『走れメロス』 前半	友情と信頼（信じる側・預ける側）
第6時	『走れメロス』 後半	絶望から希望へ
第7時	まとめ	5作品の心情を振り返り、自分の生き方につなげる

各時間は45分を想定し、導入（5分）→展開（30分）→まとめ（10分）の共通構成です。

4. キットの構成と使い方

ファイル	内容	主な使いどころ
キット00（本書）	狙い・対象・全体像・使い方	最初に読む
キット01	単元計画表・単元目標・評価規準	全体設計の確認、指導計画づくり
キット02	各時の授業案（ねらい・時間配分・中心発問・板書計画・進行の流れ）	授業・学習会の準備
キット03	ワークシート（全時共通フォーマット＋各時版）	印刷して配布
キット04	導入読み上げ原稿＋展開部の対話例台本	そのまま読み上げて授業を進める
キット05	教材リストと選定基準	作品の差し替え・追加検討

使い方の例

- **塾・少人数クラスで**：キット02の授業案とキット04の原稿を使い、週1回×7回の読解講座として実施します。ワークシート（キット03）は毎回印刷して配布してください。
- **家庭学習で**：保護者がキット04の導入原稿を読み聞かせ、本文と一緒に音読したあと、ワークシートの3問（出来事→人物の気持ち→自分の考え）を親子で話しながら書きます。板書計画はノートの見開きに写す形でも使えます。
- **自由授業・読書会で**：第7時の「一番心を動かされた人物は誰？」を軸に、複数回分をまとめて実施する運用も可能です。

実施上の注意

- 本文（各作品のテキスト）はキットに含まれません。市販の文庫・教科書・青空文庫などで各自ご用意ください。
- 発問への「正解」を求めるのではなく、本文を根拠に自分の言葉で考えを表現できたことを評価してください（評価規準はキット01参照）。
- 5つの物語は差し替え可能です。差し替え候補と選定基準はキット05にまとめています。

キット01：単元計画表・単元目標・評価規準

- 著者：秋元進吾
 - 対象の目安：小学校高学年～中学生（塾・家庭学習・自由授業向け。各作品の教科書担当はキット00参照）
-

単元名

「人の心を想像し、自分の生き方を考える」

単元目標

1. 物語を丁寧に読み、登場人物の行動や心情を想像できる。
 2. 登場人物の気持ちの変化を、本文や自分の経験と結びつけて考えられる。
 3. 読み取ったことを自分の言葉で表現し、他の人と共有することができる。
-

評価規準

- 登場人物の心情に自分を重ねて考えようとしている。
 - 心情の変化や理由を筋道立てて考えられている。
 - 本文を根拠にして自分の考えをノートや発表で表現できている。
-

単元計画表（全7時間）

時間	教材	活動内容	発問例	ねらい
第1時	『ごんぎつね』（新美南吉）	場面読解。ごんが栗を届け続けた理由を考える。	「ごんはなぜ兵十に近づこうとしたのだろう？」	伝わらない思い、誤解される悲しみを想像する
第2時	『大造じいさんとガン』（椋鳩十）	大造じいさんと残雪の行動を比較する。	「なぜ大造じいさんは残雪を撃てなかったのだろう？」	敵対の中に生まれる敬意や心情の変化を考える
第3時	『注文の多い料理店』（宮沢賢治）	紳士の気持ちを追って読む。	「注文が増えるたびに、紳士たちはどんな気持ちになった？」	高揚から不安・恐怖へと変わる心情の流れをつかむ
第4時	『雪女』（小泉八雲・再話）	約束を破った場面を精読する。	「雪女はなぜ正体を明かしたときに去ったのだろう？」	人の弱さと信じたい心のせめぎあいを想像する
第5時	『走れメロス』（太宰治）前半	王に捕らえられる場面から途中まで読む。	「なぜメロスは友を人質にしたのか？」	友情と信頼の意味を読み取る
第6時	『走れメロス』（太宰治）後半	走る途中～再会の場面を読む。	「なぜ走り続けられた？」 「再会した二人はどんな気持ち？」	絶望から希望へ変わる心情を追う
第7時	まとめ	各教材を振り返り、自分ならどうするかを発表する。	「一番心を動かされた人物は誰？なぜ？」	心情を想像した経験を、自分の生活や人間関係に結びつける

この計画の特徴

- **心情の幅を広げる流れ** 誤解される悲しみ（ごん）→ 敬意の芽生え（残雪）→ 恐怖（紳士）→ 約束と裏切り（雪女）→ 友情と信頼（メロス）。
- **発問は必ず「なぜ？」で深掘り** し、学習者が自分事として考えられるように配置しています。
- **最後は自己表現** につなげて単元を締めくくります。

キット02：各時の授業案（全7時間）

- 著者：秋元進吾
- 対象の目安：小学校高学年～中学生（塾・家庭学習・自由授業向け）
- 各時間は45分想定：導入（5分）→ 展開（30分）→ まとめ（10分）
- 読み上げ用の導入原稿・対話例台本はキット04、配布用ワークシートはキット03を参照してください。

第1時『ごんぎつね』（新美南吉）

- ねらい：伝えたい心と誤解される悲しみを想像する。
- 中心発問：「ごんはなぜ兵十に近づいたのだろう？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「伝えたいのに伝わらなかった経験」をペアや親子で交流する。
展開	30分	場面音読（ごんが栗を届ける場面）→ 出来事・兵十の気持ち・ごんの気持ちを板書に整理 → 中心発問 → ワークシート記入 → グループで共有。
まとめ	10分	「ごんの気持ちは兵十に伝わった？伝わらなかった？」を発表し、「伝えたいのに伝わらない」心情で締める。

板書計画

ごんの気持ちを考えよう

できごと：いたずら → 反省 → 栗を届ける

兵十の気持ち：喜び → 誤解 → 怒り

ごんの気持ち：伝えたいのに伝わらない

考え：ごんはなぜ兵十に近づいた？

第2時『大造じいさんとガン』（椋鳩十）

- ねらい：対立の中にも生まれる心情の変化（敵への敬意）を理解する。

- **中心発問**：「なぜ大造じいさんは残雪を撃たなかったのだろう？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「ライバルに尊敬を感じた経験」を交流する。
展開	30分	音読 → 大造じいさんと残雪の気持ちを比較して板書に整理 → 中心発問 → ワークシート記入 → 全体で共有。
まとめ	10分	「敵対していても相手に敬意を抱くことがある」ことについて、自分の経験と結びつけて考えをまとめる。

板書計画

敵への心の変化を考えよう

大造じいさん：倒したい → 敬意をもつ

残雪（ガン）：逃げる → 生き抜く

考え：なぜ撃たなかったのか？

第3時『注文の多い料理店』（宮沢賢治）

- **ねらい**：高揚から不安・恐怖へ変わる心情の流れをつかむ。
- **中心発問**：「注文が増えるたびに、紳士たちはどんな気持ちになった？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「ワクワクが不安に変わった経験」を共有する。
展開	30分	音読（“注文”が増えていく場面） → 紳士の心の変化を時系列で板書に整理 → 中心発問 → ワークシート記入 → ペアで確認。
まとめ	10分	「不安や恐怖は人をどう動かすか」を共有し、恐怖は人を止めることも、気をつけさせる力にもなるとまとめる。

板書計画

紳士の心の変化を考えよう

初め：自信满满（高揚）

注文が増える：不安 → 恐怖

考え：紳士たちはどんな気持ちになった？

第4時『雪女』（小泉八雲・再話）

- **ねらい**：人の弱さと、相手を信じたい気持ちのせめぎあいを想像する。
- **中心発問**：「雪女はなぜ去ったのだろうか？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「約束を守った／守れなかった経験」を交流する。
展開	30分	音読（約束の場面→約束を破った場面）→ 男と雪女的心情を板書に整理 → 「男はなぜ約束を破ってしまったのか」「雪女はなぜ去ったのか」を発問 → ワークシート記入 → グループ共有。
まとめ	10分	「約束を守ることと、守れなかったときの相手の気持ち」について考えをまとめ、約束の大切さを自分の生活に結びつける。

板書計画

約束と心の揺れを考えよう

男：雪女との約束 → 守るが最後に破る

雪女：信じたい → 裏切られ去る

考え：雪女はなぜ去ったのか？

第5時『走れメロス』前半（太宰治）

- **ねらい**：友情と信頼の意味を読み取る。

- **中心発問**：「なぜメロスは友を人質にしたのか？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「友にすべてを任せる／任される気持ち」を共有する。
展開	30分	音読（王に捕らえられる場面）→ メロスと友（セリヌンティウス）の心情を板書に整理 → 中心発問 → 「セリヌンティウスはどんな気持ちだったか」も問う → ワークシート記入 → 全体共有。
まとめ	10分	「友情って何だろう？信じるってどういうこと？」を話し合い、信頼関係の意味を確認する。

板書計画

メロスの心情を考えよう（前半）

① 王に捕らえられる

メロス：友を信じる

セリヌンティウス：命を預ける

考え：なぜ人質を友に頼んだ？

第6時『走れメロス』後半（太宰治）

- **ねらい**：絶望から希望へ変わる心情を追う。
- **中心発問**：「なぜ走り続けられたのか？」「再会した二人はどんな気持ち？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「あきらめそうになってもやり抜いた経験」を交流する。
展開	30分	音読（走る場面～再会）→「もうだめだ」→「裏切れない！」の心情の転換と再会場面を板書に整理→発問1「なぜ走り続けられたのか？」→発問2「再会した二人はどんな気持ち？」→ワークシート記入→発表。
まとめ	10分	「メロスとセリヌンティウスの友情を、自分の友達との関係に当てはめるとどう思うか」を発表し、友情の力を全員で共有する。

板書計画

メロスの心情を考えよう（後半）

② 走る途中：「もうだめだ」→「裏切れない！」
③ 再会：友情・信頼の喜び

考え：なぜ走り続けられた？ 再会した二人はどんな気持ち？

第7時 まとめ

- **ねらい**：物語を通して想像した心情を、自分の生き方や人間関係に結びつける。
- **中心発問**：「一番心を動かされた人物は誰？なぜ？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	これまで読んだ5つの物語を振り返る。
展開	30分	板書に5作品の心情一覧を並べる（ごん・大造じいさん・紳士・雪女・メロス）→中心発問→ワークシート記入→発表。
まとめ	10分	心情を想像することで人に寄り添えることを確認し、「物語を読むことは、人の気持ちを考える練習になる」と締めくくる。

板書計画

心情を想像して、自分の生き方を考えよう

ごん：伝えられない思い

大造じいさん：敵への敬意

紳士：恐怖

雪女：信じたい心と裏切り

メロス：友情と信頼

一番心を動かされた人物とその理由は？

板書・ワークシート運用のポイント

- 板書は「出来事 → 心情 → 問い」でシンプルに整理し、出来事と心情を並べて可視化することで、学習者が自然に心の動きを追えるようにします。
- ワークシートは毎回 **本文** → **人物の心** → **自分の考え** の流れで整理します（キット03参照）。
- 単元の最後は、自分の経験や人間関係に引き寄せて書かせます。

著者：秋元進吾

キット03：ワークシート（全7時間分・印刷用）

- 著者：秋元進吾
 - 対象の目安：小学校高学年～中学生
 - 使い方：各時1枚ずつ印刷して配布してください。1ページ＝1時分です。家庭学習ではノートに項目を写して使うこともできます。
-

全時共通フォーマット

ワークシートはすべて次の3ステップの流れで統一しています。

1. **場面の出来事**（短くまとめる）
2. **登場人物の気持ち**（本文からヒントとなる言葉を探して引用する）
3. **自分の考え**（どうしてそう思うか、自分ならどうするか）

「本文 → 人物の心 → 自分の考え」の順に書くことで、根拠をもって心情を想像する練習になります。人物が2人いる時間（第2・4・5・6時）は、それぞれの人物の気持ちを分けて書きます。

第1時『ごんぎつね』ワークシート

名前：_____

今日の問い：ごんはなぜ兵十に近づいたのだろう？

1. 今日の場面の出来事

2. ごんの気持ち（本文から言葉を引用して）

3. 自分の考え・自分ならどうする？

第2時『大造じいさんとガン』ワークシート

名前：_____

今日の問い：なぜ大造じいさんは残雪を撃たなかったのだろう？

1. 今日の場面の出来事

2. 大造じいさんの気持ち

3. 残雪（ガン）の気持ち

4. 自分の考え

第3時『注文の多い料理店』ワークシート

名前：_____

今日の問い：注文が増えるたびに、紳士たちはどんな気持ちになった？

1. 今日の場面の出来事

2. 紳士の気持ちの変化（はじめ → とちゅう → さいご）

3. 自分ならどう感じる？

第4時『雪女』ワークシート

名前：_____

今日の問い：雪女はなぜ去ったのだろう？

1. 今日の場面の出来事

2. 男の気持ち

3. 雪女の気持ち

4. 自分の考え

第5時『走れメロス』(前半) ワークシート

名前: _____

今日の問い: なぜメロスは友を人質にしたのか?

1. 今日の場面の出来事

2. メロスの気持ち

3. 友(セリヌンティウス)の気持ち

4. 自分の考え

第6時『走れメロス』（後半）ワークシート

名前：_____

今日の問い：なぜ走り続けられた？ 再会した二人はどんな気持ち？

1. 今日の場面の出来事

2. メロスの気持ち

3. セリヌンティウスの気持ち

4. 自分の考え

第7時 まとめワークシート

名前：_____

今日の問い：一番心を動かされた人物は誰？ なぜ？

（振り返り） どん＝伝えられない思い / 大造じいさん＝敵への敬意 / 紳士＝恐怖 / 雪女＝信じたい心と裏切り / メロス＝友情と信頼

1. 一番心を動かされた人物は誰？

2. その理由（心情のどこに共感したか）

3. 自分の生活とどうつながる？

著者：秋元進吾

キット04：導入読み上げ原稿＋展開・まとめ対話例台本 (全7時間分)

- 著者：秋元進吾
 - 対象の目安：小学校高学年～中学生（塾・家庭学習・自由授業向け）
 - 使い方：
 - **導入原稿**は、指導者（先生・保護者）がそのまま声に出して読める完全原稿です（各5分）。
 - **展開・まとめ台本**は、発問のタイミングと学習者とのやり取りの例を示した進行台本です（展開30分・まとめ10分）。学習者の答えの例はあくまで一例なので、実際の反応に合わせて進めてください。
-

第1部：導入読み上げ原稿（各時5分）

第1時『ごんぎつね』導入原稿

「みなさん、誰かに“ありがとう”を伝えたかったのに、うまく伝わらなかったことってありますか？例えば、手伝ってあげたのに気づいてもらえなかったり、勇気を出して声をかけたのに相手が怒ってしまったり。

今日の物語『ごんぎつね』は、いたずら好きのキツネが人を困らせてしまったあと、“なんとか償いたい”と思う場面から始まります。でも、その気持ちは相手にちゃんと届くでしょうか。ごんの心を、みんなで一緒にのぞいてみましょう。」

第2時『大造じいさんとガン』導入原稿

「みなさんには“ライバル”と呼べる人はいますか？勉強や運動で『あの人には負けたくない！』と思う相手です。でも時には、その人を『すごいな、かなわないな』と尊敬する気持ちになることもありますか？

今日読む『大造じいさんとガン』には、そんな不思議な気持ちの変化が出てきます。長年戦ってきた猟師と、一羽の賢いガン。敵どうしなのに、ある瞬間に心が動きます。なぜそんな気持ちになったのか、一緒に考えてみましょう。」

第3時『注文の多い料理店』導入原稿

「山や森に探検に行ったことのある人？最初はワクワクしていたのに、だんだん心細くなったり怖くなったりしたことはありますか？明るいうちは楽しいけど、夕方になると急に不安になる・・・そんな経験、

きっとあると思います。

今日の物語『注文の多い料理店』に登場する二人の紳士も、最初は自信满满で冒険を楽しんでいました。けれど、進むうちに次々と“注文”が増えていきます。彼らの気持ちはどう変わっていったのでしょうか。ワクワクから恐怖へ移っていく心の流れを、一緒に追いかけてみましょう。」

第4時『雪女』導入原稿

「みなさんは友だちや家族と“約束”をしたことがありますか？ちゃんと守れたときはどんな気持ちでしたか？守れなかったときは？」

今日読む『雪女』は、少し怖くて、でも人間らしい気持ちが描かれているお話です。ある男が雪女と出会い、“このことは誰にも言うな”と約束をします。長い年月がたち、その約束が破られたとき、雪女はどうしたのでしょうか。信じたい心と裏切られた悲しみ。私たちも想像しながら読んでいきましょう。」

第5時『走れメロス』(前半) 導入原稿

「みんなは、大切な友だちに“全部を任せるよ”って言ったことはありますか？逆に、友だちから“君を信じてるよ”って言われたら、どんな気持ちになりますか？」

今日の物語『走れメロス』は、友情と信頼が大きなテーマです。主人公メロスは、王に捕らえられたとき、友だちを人質にしてまで約束をします。なぜそんな選択をしたのでしょうか。メロスの心を一緒に考えていきましょう。」

第6時『走れメロス』(後半) 導入原稿

「みなさんは途中で『もう無理だ・・・』と思ったけれど、最後までやりぬいた経験はありますか？マラソンを走りきったり、苦手な練習を続けたり・・・。

物語の後半で、メロスは命をかけて走り続けます。何度も『もうだめだ』と思いながら、また立ち上がります。なぜメロスはあきらめなかったのでしょうか。そして、友と再会したとき、二人はどんな気持ちだったのでしょうか。一緒に考えていきましょう。」

第7時 まとめ導入原稿

「これまでにいろいろな物語を読んできましたね。 - ごん：伝えたい気持ちが伝わらなかった - 大造じいさん：敵への敬意 - 紳士たち：恐怖 - 雪女：信じたい心と裏切り - メロス：友情と信頼

どの人物の気持ちに、一番心を動かされましたか？今日はそれを振り返って、自分ならどうするかを考えていきます。物語を読むことは、人の心を想像する練習です。最後に、自分の生活に結びつけて考えてみまし

よう。」

第2部：展開・まとめ対話例台本（各時：展開30分＋まとめ10分）

※「学習者」の発言は反応の一例です。実際の答えを受け止めながら進めてください。

第1時『ごんぎつね』

展開（30分）

指導者：「それでは、ごんが栗を届ける場面を読みましょう。」（学習者音読）指導者：「兵十の気持ちはどうだったかな？」学習者：「最初はうれしそう。でも・・・ごんだと気づかなくて怒った。」指導者：「そうだね。じゃあ、ごんの気持ちは？」学習者：「喜んでもらえると思ったのに、伝わらなかった。」→板書に整理。ワークシート記入。

まとめ（10分）

指導者：「ごんの気持ちは兵十に伝わったと思う？伝わらなかった？」数名発表後、指導者のまとめ：「ごんの気持ちは届かなかったかもしれない。でも“伝えたい”という思いは確かにあった。ここが大切だね。」

第2時『大造じいさんとガン』

展開（30分）

音読。指導者：「大造じいさんは残雪を撃てば勝ちだったのに、なぜ撃たなかったのだろう？」学習者の意見→「かわいそうだから」「すごいと思ったから」。指導者：「大造じいさんの心に“敬意”が生まれたんだね。」→板書。ワークシート記入。

まとめ（10分）

指導者：「敵なのに尊敬する・・・そんなこともある。みんなもライバルにそんな気持ちを持ったことがある？」学習者が発表→「運動会で負けたけどすごいと思った」。指導者のまとめ：「相手の気持ちを考えることは、自分を成長させることにもつながるね。」

第3時『注文の多い料理店』

展開（30分）

音読。指導者：「注文が増えていくと、紳士たちの気持ちはどう変わった？」学習者：「最初は自信満々→少し不安→だんだん怖い」指導者：「心の変化を“流れ”で見るとよく分かるね。」→板書。ワークシート

記入。

まとめ (10分)

指導者：「みんなは、不安や恐怖を感じたときどうする？立ち止まる？進む？」学習者数名が発表。指導者のまとめ：「恐怖は人を止めることもあるし、気をつけさせる力にもなる。紳士たちの心を想像して、自分の経験ともつなげてみよう。」

第4時『雪女』

展開 (30分)

音読。指導者：「男はなぜ約束を破ってしまったのかな？」学習者：「忘れちゃったから」「奥さんを信じすぎたから」。指導者：「雪女はなぜ去ったの？」学習者：「裏切られて悲しかった」「怒ったから」。→板書。ワークシート記入。

まとめ (10分)

指導者：「約束を守ることと、守れなかったときの相手の気持ち。みんなならどうする？」数名発表。指導者のまとめ：「約束には人と人をつなぐ力がある。雪女の気持ちを想像すると、その大切さが分かるね。」

第5時『走れメロス』(前半)

展開 (30分)

音読（王に捕らえられる場面）。指導者：「なぜメロスは友を人質にしたんだろう？」学習者：「信頼していたから」「自分を試すため」。指導者：「セリヌンティウスはどんな気持ちだった？」学習者：「怖いけど信じていた。」→板書。ワークシート記入。

まとめ (10分)

指導者：「友情って何だろう？信じるってどういうこと？」学習者の意見→指導者のまとめ：「人を信じる勇氣、信じてもらえるうれしさ。この物語はそこから始まっているんだね。」

第6時『走れメロス』(後半)

展開 (30分)

音読（走る場面～再会）。指導者：「なぜメロスは走り続けられたの？」学習者：「友を裏切れないから」「信じられていたから」。指導者：「二人が再会したときの気持ちは？」学習者：「うれしい」「信じ合えてよかった」。→板書。ワークシート記入。

まとめ (10分)

指導者：「メロスとセリヌンティウスの友情を、自分の友達との関係に当てはめるとどう思う？」 学習者発表。指導者のまとめ：「友情や信頼は、人を最後まで動かす力になるんだね。」

第7時 まとめ

展開（30分）

指導者：「5つの物語の登場人物の心情を振り返ろう。」板書に並べる（ごん・大造じいさん・紳士・雪女・メロス）。発問：「一番心を動かされた人物は誰？なぜ？」 学習者：ワークシート記入 → 発表。

まとめ（10分）

指導者のまとめ：「物語を読むことは、人の心を想像すること。その力は、友だちや家族と過ごすときにも大切です。これからも、本を読むときに“この人はどんな気持ちかな”と考えてみましょう。」

著者：秋元進吾

キット05：教材リストと選定基準

- 著者：秋元進吾
- 対象の目安：小学校高学年～中学生（塾・家庭学習・自由授業向け）
- 用途：本編7時間で扱う5作品の差し替え・追加を検討するときの候補リストです。

選定基準（3点）

「心情を想像する力」を伸ばす教材は、**人物の選択や葛藤がはっきりしていて、読者が「自分ならどうするか」を考えられる話**が向いています。具体的には次の3点です。

1. 「心の揺れ」がはっきり描かれていること。
2. 選択に理由があるけれど、読者が「自分ならどうする？」と考えられること。
3. 結末が明るくても暗くても、人物に寄り添って読めること。

こうした教材を「心情の想像」に重点を置いて扱うと、学習者が自然に登場人物に感情移入できます。

心情読解に向く8作品リスト

1. 日本の古典・昔話

作品	作者	教科書配当（参考）	心情読解の観点
ごんぎつね	新美南吉	小学4年（東京書籍・教育出版・光村図書の3社とも）	いたずらで人に迷惑をかけてしまうが、償おうとするごんの気持ち。最後に伝わらない切なさを想像する活動に向く。
注文の多い料理店	宮沢賢治	小学5年（現在は東京書籍のみ掲載）	登場人物の不安や恐怖が次第に高まる。読者は「この後どうなる？」と感情を重ねやすい。
雪女	小泉八雲（再話）	小中の教科書に定番配当なし	約束を守るか破るか、人間の弱さと雪女の心情を考える教材になる。

2. 世界の童話・物語

作品	作者	教科書配当 (参考)	心情読解の観点
小公女	バーネッ ト	教科書配当な し	急に境遇が変わったセーラがどんな心情で困難を耐えた のか、想像する力を育てられる。
マッチ売りの少女（アン デルセン童話）	アンデル セン	教科書配当な し	少女の夢や願い、孤独をどう受け止めたか。読者自身の 感情を動かす題材。
長靴をはいた猫	ペロー	教科書配当な し	ずる賢さ・機転・忠誠心など、猫と主人の心情を重ねて 考えやすい。

3. 学校教材でよく扱われる近現代作品

作品	作者	教科書配当（参考）	心情読解の観点
大造じいさ んとガン	棕鳩十	小学5年（3社と も）	猟師とガンの知恵比べ。敵対しながらも敬意が芽生 える心情の変化を想像するのに最適。
スーホの白 い馬	モンゴル民話（大塚 勇三・再話）	小学2年（光村図書 のみ掲載）	友情や別れの悲しみを、読み手が自分の感情に引き 寄せやすい。

※このほか、本編の中心教材である『走れメロス』（太宰治）の教科書配当は**中学2年**です（東京書籍・教育出版・光村図書・三省堂の4社すべて）。

※『大造じいさんとガン』の表記は光村図書がカタカナの「ガン」、東京書籍・教育出版がひらがなの「がん」です。本キットは光村表記に揃えています。

差し替え・追加のヒント

- 本編7時間の各時は「焦点となる心情」（伝わらない気持ち／敵への敬意／不安と恐怖／約束と裏切り／友情と信頼）で設計されています。差し替えるときは、同じ心情の系統に合う作品を選ぶと単元の流れが崩れません。
- 例：低年齢の学習者には『スーホの白い馬』（別れの悲しみ）を第1時の代わりに、読み応えを求める学習者には『小公女』（困難に耐える心）を追加の1時間として組み込む、といった使い方ができます。
- 教科書配当は「学校でその学年に扱われることが多い」という参考情報であり、本プログラムでは配当学年に縛られずに選書して構いません。
- 配当は教科書会社によって異なります。特に『注文の多い料理店』は現在3社中1社（東京書籍）のみ、『スーホの白い馬』は光村図書のみの掲載です。「知らない」という学習者がいても自然なので、あらすじの確認から入ると安心です。

※教科書配当は2026年7月時点で各教科書会社の公式資料（教材出典一覧・年間指導計画）を確認したものです。改訂で変わることがあります。

著者：秋元進吾